



京都教区時報



京都教区広報委員会
 (編集長 村上透磨)
 京都教区本部事務局
 京都市中京区
 河原町通三条上る
 TEL 075-211-3025
 FAX 075-211-3041
 honbu@kyoto.catholic.jp

Home Page <http://www.kyoto.catholic.jp> 4345

- 3頁～4頁 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者 列福10周年記念講演会
- 4頁～7頁 京都カトリック青年センター30周年記念
- 8頁～9頁 2019年 京都教区 司祭人事/共同宣教司牧 担当一覧
- 10頁～12頁 2018年 京都教区 現勢報告

点訳版「京都教区時報」〈無料〉
 ご希望の方は点訳ネット「レジナ」代表嶽崎(たけざき)裕子さんまでお申込みください。
 TEL・FAX 079-431-8601

2019年 司教年頭書簡を読む②

新約聖書の《もてなし》のおきて

前回の「旧約聖書の外国人」は宗教的にも社会的にも不安定な状態でした。ヘブライ語聖書では、外国人の呼び方は4つの言い方がありました。このことは、歴史状況によって、イスラエルの外国人に対する関係が、「恐れ」から「尊重」へ、「敵」から「客」、さらに「友人」と見なされていったことを表しています。

今回の「新約聖書の《もてなし》のおきて」では、外国人について三つのことを分かち合いたいと思います。

1. キリストの十字架のあがない

キリストの十字架のあがないによって、散らされている神の子たちが一つに集められ(ヨハネ11・52参照)、イスラエルとそれ以外の民を分ける、隔ての壁は打ち壊されました(エフェソ2・14参照)。ペトロがこう説教し

ています。「神は人を分け隔てなさらないことが、よく分かりました。どんな国の人でも、神を畏れて正しいことを行う人は、神に受け入れられるのです」(使徒言行録10・34～35)。

私たちキリスト者は、十字架の下で、毎日曜日それぞれの教会にミサのために一つに集められています。それだけでは信仰を成長する、また信仰を表す事ではなく、やはり、キリストに従って彼の言葉に耳を傾けるだけでは十分ではありません。それは、キリストが私たちに一つに



なって、教会の中で一つの生き物を形成するよう、求められたことを果たすことよってのみ、成し遂げられます。今日私達は私達の小教区に訪れる外国人を丁寧を受け入れることによって、そうする機会があります。

2. キリストのからだの一部分

キリスト者は一つのキリストのからだの一部分として生きているのであり、キリストと一つになることで兄弟であり、同じ父の息子となるのです（ローマ8・14〜16、ガラテヤ3・26、4・6参照）。私たちの家族では、誰もがその一部であり、資質の違いは私たちが成長し自分自身を一つの体として認識するのを助けません。ですから、教会の中で私たちは一つの体を形成し、私たちはそれを根本的な部分として認識しなければなりません。キリストから、「からだ全体は、接合と関節を通して栄養と統一とを受け、神において成長するのである」（コロサイ2・19）。キリストはその体、すなわち教会の中に、種々の任務のたまものを絶えず



用意している。われわれはこのたまものを受けて、キリストの力によって、救いのために互いに奉仕し合う。こうしてわれわれは、誠意のこもった愛を実践しつつ、すべてを通して、われわれの頭であるキリストに向かって成長する（エフェソ4・11〜16ギリシャ文参照）。

そこで新約聖書の中では、旅人への《もてなし》がキリスト教的生活の規範の一つとされました（ローマ12・13、ヘブライ13・2、1ペトロ4・9）。さらに《もてなし》は、教会リーダーの資質として挙げられ（1テモテ3・2、5・10、テトス1・8）、隣人愛を実践する方法として、すべてのキリスト者に強く

勧められました（ローマ12・13）。

今の教会リーダーは（司教、司祭、役員会、部会……）隣人愛を実践していますか？ 私たちは皆キリストの体として建てられています。皆様大切ですよ。教会の生活に欠かせないキリスト教の生活の規範の一つはおもてなしです。

3. 教会の《もてなし》の使命

自国にきた外国人を、先入観と恐れを乗り越えて受け入れることは、人をあたたく迎え入れるという、人としての当然の義務であるばかりでなく、キリストの教えに忠実であるための信徒のつとめとなりました。

今日私たちは《もてなし》を通して、外国人と共に信仰を示す機会を得ています。それが今、教会の福音的《もてなし》の使命とされています。

教会にとって、だれもがキリストにおける兄弟姉妹なのです。日本の教会は、けっして日本人だけの教会ではありません。その意味で難民移住移動者を歓迎するにとどまらず、さまざまな違いを越え

て、ひとつの共同体をつくり上げていく努力によってこそ、普遍的な教会を社会にあかすことができるのです。「国籍を越えた神の国をめざして」改訂版 教区時報2019年1月号10頁(3)より)

「あなたがたは皆、信仰により、キリスト・イエスに結ばれて神の子なのです。洗礼を受けてキリストに結ばれたあなたは皆、キリストを着ているからです。そこではもはや、ユダヤ人もギリシア人もなく、奴隷も自由な身分の者もなく、男も女もありません。あなたがたは皆、キリスト・イエスにおいて一つだからです」(ガラテヤ3・26〜28)。

「国籍を越えた神の国をめざして」改訂版から
次のように具体的にできるでしょう。

- ・日本の教会が、多国籍・多文化の共同体であることをあかすできるようにさらに努力する。
- ・外国籍信徒が積極的に典礼や秘跡に参加できるように、彼らの信仰表現を尊重しながら共同体としてふさわしいあり方

方を築いていく。外国語の典礼書も備えつけ、信仰教育に必要な研修会なども計画する。

・誰もが、特に外国籍信徒も教会の会議や行事に主体的に参加できるように配慮する。

「国籍を越えた神の国をめざして」改訂版 教区時報2019年1月号9頁(4)(b)より)

* 私たちの祈りに外国人を含める。

(アントニオ・カマチョ)

福者ペトロ岐部司祭と187殉教者

列福10周年記念講演会

現代に生きる殉教者の精神

― 福者京都52殉教者を考える ―

講師 川村信三師

(イエズス会)

福音宣教企画室では、ペトロ岐部司祭と187殉教者の列福10周年を記念して、福者京都52殉教者の記念日である10月6日に講演会を行いました。現代では「殉教」ということはそれほど身近ではないかも

しれません。ではわたしたちは異なる時代、状況を生きた殉教者からなにを学ぶことができるのでしょうか。NHK大河ドラマ『軍師官兵衛』のキリスト教考証や映画『沈黙―サイレンス―』の歴史監修なども担当する、イエズス会司祭の川村信三師を講師にお呼びし、殉教論の本質、そして京都52殉教者から学ぶことをお話いただきました。少しですが以下に内容を紹介します。

『沈黙』にも登場する井上筑後守は実在の人物ですが、井上ら幕府は宣教師たちを拷問し、「全能の神であるはずの方が、なぜ罪や悪が存在するこの世を造ったのか」、「ある人たちは天国に、ある人



たちは地獄に定めるとはおかしいではないか、あなたたちの神は善の神ではないのか」などの問いで徹底的に責め、転ばせようとした。

このような問い、悪はどこからきたのかという議論を神義論と言います。

神義論は実はわたしたちの身近に、たとえば8年前の東日本大震災の際にも巻き起こりました。罪のない人々や動物たちがたくさん亡くなり、なぜこんなひどいことが、絶望や苦しみがあるのか、多くの人が思ったでしょう。ここで殉教に戻ります。殉教の間際、みなさんはこの問いを突きつけられると思います。みなさんがいま信仰しているものは、この苦しみにおいて信仰しているものは本当ですか。現実にある死の恐怖や不安を前に、「わたしは信じることを続けます」と言えるでしょうか。ここにわたしたちが殉教者を考える意味があると思います。殉教者は「信じ続ける」と言えた人々ではないでしょうか。希望を失うような体験をしたとき、わたしたちは謙虚に手を合わせて祈るしかありません。それでも希望し続けられるかどうかです。「転ぶ」という言葉がありますが、わたしは「転び」ではなく「起き上がり」だと思います。転んでもいいけれど、起き上がるかどうか、その起き上がる力が



殉教者から学ぶことだと思います。

また、キリシタン時代の信仰は個人とより集団の信仰で、その要は家族でした。家族が中心になり、地域共同体がバックアップして、互いに信仰を守っていました。それが橋本テクラの最期に表れていません。橋本テクラが親子で、家族で殉教したことはとても特殊で、ほかにはないことです。親から子への信仰の伝承と、家族ぐるみでの信仰の保持、この「家族」という点でも京都の殉教者を誇りに思ってください。

土曜開催ということもあってか、テーマや講師に興味を持たれ、多くの方がご

参加くださいました。昨年は列福から10年でしたが、2019年は京都の大殉教からちょうど400年です。京都の殉教者たちが守り、つないできた信仰を受け取ったわたしたちもまた、日々の生活の中で少なからず苦しみにあい、希望を失うことがあります。そんなとき、もう一度「起き上がる」ことができるか、自分に問いかけ、信仰を深めるヒントとなれば幸いです。

福音宣教企画室

京都カトリック青年センター

30周年記念

河原町教会 奥埜のぞみ

1989年1月15日 京都教区の青年委員会の一組織として、「京都カトリック青年センター」がスタートしました。青年センターは、現代社会の中で青年一人一人が交流を深め、キリスト者として生きる喜びを共に分かち合い、育てあうことを理念としています。数多くの青年が、青年センターで同世代の青年や



先輩先輩と出会い、人を通して神様と出会ってきました。同じ世代のカトリック信者同士で（求道者も含めて）互いの生き方や考え方を分かち合うことのできる機会は、青年という時期において、「キリスト者としてどう生きるか」を考えさせてくれる大変重要な機会だと感じています。

そんな京都カトリック青年センターが、今年、2019年1月15日に30周年を迎えました。また、30周年を記念して1月26日に、記念行事を行いました。

30年間青年センターを続けることができたことに本当に感謝しています。お祈りくださる皆様、これまで運営されてきた諸先輩方、センターに関わる

全ての方に感謝しています。もちろん、導いてくださる神様に感謝していることとは言うまでもありません。青年センター

は「つながりネットワーク 深めようコミュニティセッション」というモットーのもと、今後とも活動してまいります。青年の知り合いがおられましたら、ぜひ青年センターに行ってみては、とおすすめてください。青年センターって何をしているの？と思われる方は、機関紙「GIO VANI（ジョバニ）」を手にとってくださるとありがたいです。（この機関紙名、大塚司教様が司祭の時に、機関紙の名前募集に応募してつけられたものですね！）ご存知でしたか?!

今回、記念行事の報告にかえて、青年センターの運営委員の数名ではありますが、記念行事の感想や、青年活動における思いを書かせていただきました。青年の思いをぜひ受け取ってください。

今後とも、青年センターと、私たち青年のために祈りをよろしく願います。

西舞鶴教会 小林 真衣

今回、京都カトリック青年センター30周年記念行事を行うにあたって、たくさん青年に声をかけました。「なるべく

多くの人とセンター30周年のお祝いをしたい」と思う気持ちが大きかったからです。

そんな気持ちで当日を迎え、来てくれたメンバーを見渡すと、知らない人がたくさん！

わたしの知らない世代の方や、これから青年センターを知りたいと思っただけの方など、今の青年センターを知らない方が集まってくれたことをとても嬉しく思います。

近年、なかなか青年が集まらず、どうしたらいいかな？と考え続けてきましたが、今回のメンバーを見て、青年センターに興味を持ってきている人はたくさんいるな、と感じました。青年センターを知ってもらうためにどうすればいいのかを考え続けたいと思います。

企画では、分かち合いをし、色々な世代のメンバーで話をするのができました。長年続いている企画のスタート秘話を聞き、中学生の頃にやっていたレクリエーションが世代を超えて、今の中学生にも人気だという話をしました。世代は変われど、変わらず受け継がれているも



のがあると感じました。

今回の30周年企画を通して、青年センターの素敵なところは、たくさんの人が関わっていることだと感じました。

30年前に、青年センターを立ち上げた方はもちろんですが、運営に携わっている人たちだけでなく、今日までに本当に多くの方々が合宿に参加し、青年センターに足を運んで、声をかけてくださり、お祈りをしてくださっています。

たくさんの方の支えがあり、青年センターは30年も続いてきました。その時々によって、細々と活動している時もあるれば、にぎやかに集まれる時もあります。人数が重要な訳ではありません。それぞ

れのタイミングで関わってくださる方と、思いや気持ちをつなげていくことが大切だと感じました。

西舞鶴教会 小林まゆか

1月26日に青年センター30周年行事を行いました。昔青年センターの事務員をされていた方や、学生の時からずっと青年センターと関わりのある方、自分の小教区の青年活動を活発にする為に何か得られれば、という思いで来てくださった方など、いろいろな方と迎えた30周年行事でした。

自分たちが参加していた合宿の話、思い出に残っているレクリエーション、最近の青年センターの活動についてなど、分かち合いをメインに行いました。

大塚司教様にも来ていただき、西陣教会のホールにある年表を見ながら青年センターができた由来や、昔から青年センターの中に保管されている【書記団】という腕章の由来、青年センターが発行している機関紙【じよばに】の名前の由来についてお聞きすることもできました。
【じよばに】はイタリア語で青年たちと

いう意味だそうです。

わたしは今、青年の数が少なくなってきたと感じ、どうすれば今よりも多くの青年が、青年センターとの関わりを持つてくれるのか悩んでいるということ、分かち合いで話しました。青年センターの先輩からのアドバイスは「合宿以外でも人と関わるということを大切にしたら大丈夫」という言葉でした。SNSが発達した今はネット上で繋がる時間が増えていることに、その時気づきました。そして、顔を直接合わせて一緒に過ごす時間が大切なのだ改めて感じ、短い時間であっても直接会うことを大切にしたいと思いました。

伊勢教会 濱口 聡子

青年センター 30周年 おめでとうございませう！

わたしが青年センターを知ったのは、中学生のとき。所属している教会の神父さまや青年が紹介してくれました。現在は、当時の青年（リーダー）たちに憧れ、運営委員として青年センターに関わって7年目になります。

30周年企画では、司教さま、はじめて青年センターを訪れた青年、事務員などそれぞれに立場の違うメンバーで分かち合いをしました。青年センターのこれまでの歩み、これからの活動について：設立前から知っておられる司教さまのお話や、まだよくわからないけれど興味をもって聞いている青年のお話。長く関わってきたけれど、はじめて知ることがたくさんあり、今後、もっと様々な視点から青年センターを見つめ、よりよい場所にしていきたいとおもいました。

長年、運営やスタッフとしてイベント、合宿などを行っているからか、どうしても、良い点、悪い点、改善していくために：と、そんなことばかりを考えてしまいます。青年センターについて、皆さんがどのような印象をもたれているのか、どのような企画があればもっと興味をもってもらえるのか、ぜひぜひ、お声を聞きたいです。

最後に。わたしたちと同じ、平成に生まれ、平成で活躍した青年センター。『平成』という時代が終わるまで残りわずですが、様々な企画を考えています！平成が終わるまでも、新しい時代が始

まってからも。これからも、どんどん盛り上げていきたいとおもっていますので、皆さまにお祈りいただけると幸いです。今後も、よろしくお願いいたします。

唐崎教会 新田理紗子

この30周年を迎えるタイミングで、事務員として青年センターに関わっていることをとても嬉しく思います。

今回は30周年の集いとして、これまでの活動を振り返る分かち合いをしたり、お菓子を食べながら最近の話をしたり、青年センターができた頃に関わってくださっていた神父様から設立の経緯を聞くことが出来たりと、とても貴重な時間になり

ました。

私自身は、中学生の時に参加していた中学生会のリーダーに出会うというところから青年センターとの関わりがうまれました。高校生の時も勉強を教えられました。センターに何度か足を運び、大学に入りてからは中学生会のリーダーやセンターの事務員として、様々な機会ですセンターに関わってきました。

最近では青年センターは、中学や高校と違って、長い間通うことのできる場所であると実感しています。自分が中学生の時にリーダーをしていた青年と今こうして活動をしていて、自分が初めて中学生会のリーダーをした時の中学3年生が、今度4月から青年活動ができる年齢になります。

これ程広い年齢層で活動する青年センター。事務員としては、青年センターがたくさんの方が集える場所になることを願っています。一青年としては、これからもっとたくさんの青年と出会って共に活動できることを願っています。



2019年 共同宣教司牧 担当者一覧

2019年4月22日付

教区司教	大塚喜直	司教総代理	瀧野正三郎	本部事務局長	北村善朗
司教館付	田中健一(静養) 外崎 豊(静養)				
派遣	森田直樹(仙台教区)				

京都北部ブロック

*谷口秀夫 J. R. ジラルール
G. ランディ

(丹後、西舞鶴、東舞鶴、福知山)

滋賀ブロック

*小立花 忠 キム・テジョン
フェリペC. Sr. 近藤公子(協力)

(大津、唐崎、安曇川、草津、彦根、長浜)

〈京都南部地区〉

洛北ブロック

*ウィリアム S. B. 北村善朗 大塚乾隆
(2019年8月まで)

(衣笠(山国・宇津)、高野、小山、西陣、北白川)

洛東ブロック

*一場 修 菅原友明 ユン・サンホ
Sr. ローサ・チェリヤン(協力)

(河原町、伏見、山科、桃山)

地区協力：花井拓夫(高野在住) 村上透磨(河原町在住)

京丹ブロック

*チェ・ソンファン A. カマチョ
(2020年1月まで)

(西院、桂、長岡、九条、丹波)

山城ブロック

*福岡一穂 ホセ・アントニオ.C
Sr. レオニダ・インデリブレ(協力)

(田辺、宇治、精華、青谷、八幡)

奈良ブロック

*柳本 昭
ノレッラ・ホセ ホン・ユンハク
Sr. 服部悦子(協力)
Sr. リーナ・ファラス(協力)
Sr. ポーリン・F(協力)

(奈良、登美が丘、富雄、大和郡山、御所、西大和、大和高田、大和八木)

〈三重地区〉

北部ブロック

*A. マチアス 瀧野正三郎
R. ブルーノ ブリー・ヤン(ヨハネ)

(四日市、桑名、鈴鹿)

ヴィクトール.D(地区協力)

南部ブロック

*奥村 豊 鶴山進栄
R. ロドリゲス エドモンド.V(協力)

(津、久居、上野、名張、伊勢、松阪)

*印はモデラートル

【無原罪の聖母フランシスコ姉妹会(フィリピン人司牧担当)】

京都北部・京都南部・滋賀：Sr. ロサリオ Sr. ヘンリエット 三重：Sr. ロリタ Sr. レティシア

**2019年 カトリック京都司教区
人事異動のお知らせ**

I. 司祭・司牧者の異動

(4月22日付)

京都南部・洛東ブロック 担当司祭
(旧任命：洛東ブロック 協力司祭)
ユン・サンホ 師 (クラレチアン会)

滋賀ブロック 担当司祭
(旧任命：奈良ブロック 担当司祭)
フェリペ・クエバス 師

奈良ブロック 担当司祭
(旧任命：語学研修)
ホン・ユンハク 師

京都南部・洛東ブロック
共同宣教司牧協力者
シスター ローサ・チェリヤン
(カルメル宣教修道女会)

II. 新しい職務の追加任命

(1月1日付)

京都カトリック青年センター 担当司祭
チェ・ソンファン 師、小立花 忠 師、
N. ホセ 師

中学生会 担当司祭
小立花 忠 師、大塚乾隆 師、
ホン・ユンハク 師

中学生広島巡礼 担当司祭
小立花 忠 師、大塚乾隆 師、
ホン・ユンハク 師

高校生会 担当司祭
キム・テジョン 師、菅原友明 師

アジア体験学習2019 担当司祭
G. ランディ 師、N. ホセ 師、
キム・テジョン 師、菅原友明 師

ワールドユースデイ 窓口担当
A. カマチヨ 師

(4月22日付)

司祭評議会・書記
鶴山進栄 師

司祭・司牧者集会担当チーム 担当司祭
鶴山進栄 師

京都教区女子奉獻生活者の会 担当司祭
菅原友明 師

京都済州姉妹教区交流委員会 担当司祭
ホン・ユンハク 師

レジオ・マリエ (京都コミチウム) 指導司祭
小立花 忠 師

III. その他

静養のためにアメリカに帰国
ロバート・ネリグ師 (旧任命：協力司祭)

(4月22日付)

教区外に転出
野田安則 師
(旧任命：京都北部ブロック 担当司祭)
諏訪修道院へ

引退
ジェームズ・ジャクソン 師
(旧任命：滋賀ブロック 担当司祭)
メリノールハウス在住

(9月1日付)

海外留学
大塚乾隆 師
(旧任命：京都南部・洛北ブロック担当司祭
8月31日まで)

2018年 特定献金報告

献金科目	総額(円)	送金先
世界こども助け合いの日	2,372,520	中央協議会を通じて、アジア・アフリカ諸国の子供たちのため
四旬節愛の献金	2,356,097	カリタスジャパンを通じて国内外の必要なところへ
聖地のための献金(聖金曜日)	742,682	教皇庁を通じて、聖地エルサレムの教会へ
世界広報の日の献金	667,492	日本の教会全体と教区の広報活動のため
濟州交流の日の献金	732,335	姉妹教区の濟州教区との交流のため
聖ベトロ使徒座への献金	862,851	教皇の活動のために教皇庁へ
世界難民移住移動者の日の献金	814,465	中央協議会を通じて、滞日外国人・難民援助のため
世界宣教の日の献金	684,769	教皇庁を通じて、世界中の宣教地のために
アジア交流の日の献金	611,381	アジアの教会との交流のために
宣教地召命促進の日	671,557	教区司祭の育成と海外神学院のため

カトリック京都司教区現勢報告書(2018年1月1日~12月31日)

I. 概況

人口: 7,135,106人(京都府、滋賀県、奈良県、三重県)
 信者総数: 18,010人(含 聖職者)

求道者: 129人
 小教区: 46
 巡回教会: 3

II. 司祭・修道者

司教 2(日本人) 0(外国人)

司祭・修道士 ()内は修練者及び志願者数

	司祭		修道士	
	日本人	外国人	日本人	外国人
京都教区	15	1		
濟州教区	0	3		
YBU	1	1		
メリノール宣教会	0	3		
グアダルベ宣教会	0	2		
フィリピン宣教会	0	3		
クラレチアン宣教会	0	1		
聖ヴィアートル修道会	0	3	0	3
エスコラピオス修道会	0	5		
カルメル修道会	3	0	3	0
ドミニコ会	2	0		
レデンプートル会	2	1		
サレジオ修道会	2	1	1(7)	0(2)
マリスタ会	1	0		
オプスディ(属人区)	0	1		
合計	26	25	4(7)	3(2)

修道女 ()内は修練者及び志願者数

	日本人	外国人
イエスの小さい姉妹の友愛会	2(1)	0
聖ヨゼフ修道会	18	1
ショファイユの幼きイエズス修道会	5	0
カルメル修道会	13	0
カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	8	1(1)
聖母訪問会	5	0
ヌヴェール愛徳修道会	32	0
ノートルダム教育修道女会	50	2
聖ドミニコ女子修道会	5	0
聖ドミニコ宣教修道女会	5	0
無原罪の聖母フランシスコ姉妹会	0	4
カルメル宣教修道女会	0	6
善きサマリア人修道会	9	0
マリアの娘エスコラピオス修道女会	0	0
合計	152(1)	14(1)

在俗会

	日本人	外国人
聖マリア在俗会	11	0

神学生

	日本人	外国人
教区	1	0
修道会・宣教会	0	1
合計	1	1

Ⅲ. 小教区概況 (1)

教会名	信徒総数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	2017年	2018年	日曜日	復活祭	クリスマス		幼児	成人						信	未
総合計	17,869	17,761	4,283	8,146	9,979	129	200	127	247	52	145	115	186	673	339
京都北部ブロック															
1. 丹 後	697	690	130	100	220	1	3	7	7	3	0	2	17	47	9
2. 福 知 山	356	356	100	170	140	6	1	1	9	2	0	0	3	5	0
3. 西 舞 鶴	253	250	60	100	100	0	2	3	3	1	0	10	2	0	0
4. 東 舞 鶴	226	226	40	70	120	0	3	1	4	0	6	2	4	0	0
小 計	1,532	1,522	330	440	580	7	9	12	23	6	6	14	26	52	9
(京都) 洛北ブロック															
5. 衣 笠	413	403	80	180	120	4	1	2	2	1	1	5	8	11	0
5-1. 宇 津	12	10	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
5-2. 山 国	12	13	8	10	10	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6. 小 山	142	147	25	40	95	0	0	1	1	1	4	0	0	0	0
7. 西 陣	167	164	50	60	65	0	0	1	2	1	3	2	4	6	0
8. 高 野	435	424	80	150	160	3	3	1	7	3	2	7	6	25	0
9. 北 白 川	493	504	80	90	150	12	2	8	11	5	4	8	8	47	0
小 計	1,674	1,665	327	534	604	19	7	13	23	11	14	22	28	89	0
(京都) 洛東ブロック															
10. 河 原 町	1,857	1,873	586	1,363	2,200	19	10	14	18	5	21	11	17	20	98
11. 山 科	334	332	85	180	180	2	0	0	1	1	1	3	0	15	0
12. 伏 見	366	353	200	200	380	1	5	3	1	0	2	0	6	22	0
13. 桃 山	379	372	50	140	100	1	0	1	3	0	3	4	5	18	0
小 計	2,936	2,930	921	1,883	2,860	23	15	18	23	6	27	18	28	75	98
(京都) 京丹ブロック															
14. 丹 波	328	323	40	93	121	3	0	0	0	0	0	1	5	15	4
15. 西 院	477	470	100	160	170	1	1	2	3	0	0	4	6	17	1
16. 九 条	277	284	45	90	90	0	2	3	1	0	2	0	1	6	0
17. 桂	461	448	70	120	150	4	0	2	0	2	2	5	3	10	3
18. 長 岡	274	271	41	110	124	0	0	1	1	0	0	1	3	2	0
小 計	1,817	1,796	296	573	655	8	3	8	5	2	4	11	18	50	8
(京都) 山城ブロック															
19. 宇 治	528	536	100	160	200	5	2	1	2	1	10	2	3	0	0
20. 青 谷	185	183	30	70	110	0	0	0	3	0	0	0	2	0	0
21. 八 幡	175	177	40	50	50	0	1	0	0	0	3	0	2	0	0
22. 田 辺	398	400	80	181	191	2	1	1	3	0	5	0	3	32	0
23. 精 華	182	179	37	90	118	1	0	1	1	0	1	1	1	2	0
小 計	1,468	1,475	287	551	669	8	4	3	9	1	19	3	11	34	0
京都府合計	9,427	9,388	2,161	3,981	5,368	65	38	54	83	26	70	68	111	300	115

Ⅲ. 小教区概況(2)

教会名	信徒総数		ミサ参加			求道者	洗礼		堅信	結婚	転入	転出	死亡	教会学校	
	2017年	2018年	日曜日	復活祭	クリスマス		幼児	成人						信	未
奈良ブロック															
24. 富雄	330	323	70	130	130	2	3	0	0	0	3	4	6	16	32
25. 登美が丘	526	523	120	200	200	8	0	0	0	0	2	5	0	11	156
26. 奈良	1,086	1,079	200	300	350	1	3	1	2	3	7	7	11	20	0
27. 大和郡山	363	362	55	95	130	0	0	0	1	0	0	0	1	11	0
28. 酢和カトリック	259	257	60	120	120	0	2	0	1	0	0	2	2	2	4
29. 大和高田	380	369	65	100	110	0	0	1	4	1	2	1	3	4	1
30. 大和八木	317	322	60	120	130	3	1	0	5	0	6	0	1	0	0
31. 御所	123	122	20	55	65	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0
奈良県合計	3,384	3,357	650	1,120	1,235	14	9	2	13	4	21	19	26	64	193
滋賀ブロック															
32. 安曇川	94	95	20	26	29	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
33. 唐崎	269	276	75	140	240	0	2	1	5	0	7	0	2	39	3
34. 大津	572	577	90	250	290	3	0	3	3	3	8	6	2	22	2
35. 韃(含甲賀)	779	767	192	330	400	1	5	10	32	8	3	4	11	10	0
36. 彦根	293	291	80	150	200	7	13	4	10	1	5	6	6	26	0
37. 長浜	84	90	40	100	100	1	3	3	8	2	0	0	0	21	0
滋賀県合計	2,091	2,096	497	996	1,259	12	23	21	58	14	24	16	21	118	5
三重北部ブロック															
38. 桑名	258	283	111	210	177	1	3	2	6	1	25	2	3	15	5
39. 四日市	694	700	319	822	355	4	85	21	47	4	2	2	6	50	13
40. 鈴鹿	254	274	120	150	400	15	8	15	7	2	0	2	3	43	0
小計	1,206	1,257	550	1,182	932	20	96	38	60	7	27	6	12	108	18
三重南部ブロック															
41. 上野	358	371	100	120	150	3	11	2	11	0	1	0	1	25	3
42. 名張	237	234	40	90	90	0	0	0	2	0	0	3	0	18	0
43. 津	367	372	130	200	300	10	8	4	5	0	1	1	7	5	0
44. 久居	187	184	45	120	120	2	1	1	1	0	0	0	3	18	5
45. 松阪	335	333	50	180	350	2	11	1	9	1	1	0	2	17	0
46. 伊勢	277	169	60	157	175	1	3	4	5	0	0	2	3	0	0
小計	1,761	1,663	425	867	1,185	18	34	12	33	1	3	6	16	83	8
三重県合計	2,967	2,920	975	2,049	2,117	38	130	50	93	8	30	12	28	191	26

2019年4月1日
カトリック京都司教区
本部事務局

4月のお知らせ

教 区

聖書委員会 / Tel.075(211)3484 ㊦㊧

よく分かる聖書の学び

日 時：10日㊦ 10:30

講 師：北村 善朗師 / 参加費：300円

場 所：河原町教会

修 道 会

男子カルメル修道会(宇治修道院)

Tel.0774(32)7016 Fax.(32)7457

水曜黙想(Sr. ロサ)

日 時：17日㊦ 10:00~16:00

テーマ：復活のイエスを探して

参加費：3,000円

聖週間を祈る(講話なし・各食事つき)

日 時：18日㊦ 16:00~21日㊧ 11:30

聖木曜日から復活祭まで。

どの曜日からでも参加可能です。

参加費は、お問い合わせください。

ゴールデンウィーク黙想会(中川 博道師)

日 時：28日㊧ 17:00~5月5日㊧ 21:00

テーマ：イエスと共に生きる基盤を探す

途中からの参加も可能です。

参加費は、お問い合わせください。

教区広報委員会からのお知らせ

※ お知らせに載せたい情報は、原稿締切り日までに教区本部事務局宛に Fax.075 (211) 3041か honbu@kyoto.catholic.jp に発信者のお名前を明記してお寄せください。

※ 6月号の原稿締切り日は4月10日㊦です。

諸 団 体

京都カトリック混声合唱団

練 習：14日㊦ 14:00/27日㊧ 18:00 ミサ奉仕後

カトリック会館6階

コーロ・チェレステ(女声コーラス)

練 習：11日㊦ 10:00/25日㊦ 10:00

カトリック会館6階

聴覚障がい者の会(どなたでも参加可)

手話表現学習会(聖書と典礼)

日 時：11日㊦ 13:00~15:00

会 場：カトリック会館6階

京都キリシタン研究会

2019四旬節・春の巡礼

日 時：13日㊧ 9:30~12:30

巡礼コース：9:30 河原町教会地階 都

の聖母小聖堂 集合出発⇒鴨川河原⇒正

面橋東詰 京都の大殉教碑⇒南蛮寺跡⇒

元本能寺跡⇒日本26聖人発祥の地記念碑

⇒フランシスカン チャペル(元・フラン

シスコの家)

12:30解散予定(約6km/途中参加も歓迎)

雨天決行：歩きやすい服装、靴

持ち物：水筒、帽子、雨具、あめ玉等

参加費：無料/問合せ:090(2381)4630 古澤

心のともしび 番組案内

テレビ(衛星スカパー・ケーブル)スカイA

毎週土曜日 朝7:45

シリーズ「自分を深く知るために」

出演は Sr. 小野 恭世(イエズス孝女会)

ラジオ(KBS京都) ㊦~㊧ 朝5:55

㊧ 朝5:15

4月のテーマ「ホッとするとき」

大塚司教の

4月のスケジュール

Schedule of Bishop Otsuka



- 1日㊦ 9:00 中央協議会・始業ミサ
- 3日㊦ 11:00 「東京カトリック神学院」
開校式ミサ
- 4日㊦ 10:00 中央協 常任司教委員会
- 7日㊦ 10:30 丹後教会・加悦教会堂ミサ
- 9日㊦ 9:30 セントヨゼフ女子学園
創立60周年感謝ミサ
- 11日㊦ 14:00 福音宣教企画室

- 14日㊦ 11:00 精華教会ミサ
- 15日㊦ 15:00 司教顧問会
- 17日㊦ 11:00 聖香油ミサ(河原町教会)
- 18日㊦ 19:00 主の晩餐(河原町教会)
- 19日㊦ 19:00 主の受難(河原町教会)
- 20日㊦ 19:00 復活徹夜祭(河原町教会)
- 21日㊦ 10:30 主の復活ミサ(河原町教会)
15:00 主の復活ミサ(宇津教会)
- 27日㊦ 11:00 安土セミナリオ顕彰ミサ
- 29日㊦ 10:30 右近こども祭りミサ

新青年歓迎

唐崎教会 新田理紗子

4月ですね！ 進級、進学、就職と身の回りの環境が大きく変わる人も多いかと思えます。そして、新しく青年となった皆様、おめでとうございます！

私たち青年センターは、京都教区内の各教会、青年の諸活動をバックアップするための機関であり、時には主催として合宿や企画を行っています。また、教区を越えた青少年活動についての京都教区の窓口として活動しています。

今年は、5月に交流を中心とした合宿「春プロジェクト」、11月に毎年行っている「YES2019」。また、2ヵ月に1度各地区を回って行う運営委員会・青少年交流会や、昨年から新しく始めた「一日企画」など、様々な活動が盛りだくさん！

合宿やイベントがあるときはHPに告知していますのでそちらをご覧ください。ちなみに「春プロジェクト」は5月18日(土)～19日(日)に行う予定です！

青年センターでは、HPやFacebook、Twitter、メールマガジンでの広報活動を行っています。少しでも興味を持たれた方は、ぜひご覧ください！



青年センター ホームページ

【青年センター-HP】 携帯からでもご覧いただけます。 <http://www.kyoto.catholic.jp/seinen/>

青年センターあんでな